

広報

やまと

7 月号
2025 No. 300



ありがとう

来館者 くるぐる



9696人達成!!

2025 年 6 月 28 日 (土) これからもアミノクロウサギの応援をお願いします

表紙 9696 人達成記念

02-03 特集 大和村の今年のスモモ

04-05 特集 広報やまと 300 号記念 発行 58 年間の大和村のできごと

06-09 シマの話題

08-09 越後先生のしま診療だより、ほか

10-16 お知らせ、大和村長のフォトダイアリー、ほか



7月22日（火）、果樹農家による今年のすもも出荷反省会が開催されました。今後も高品質の大玉栽培を目指し、摘果作業と園地適正管理を呼びかけました。また、地球温暖化に対し、新たに春夏施肥へ以降する栽培体型も図られています。

毎年、美味しいすももを作ってくれている農家さんには感謝しきれません。来年も期待しています！

6月下旬、大和まほろば館の加工場では、すももの加工が最盛期を迎えます。加工を行っているのは、まほろば大和生活研究グループの皆さん。代表の泉美保子さんは「大和村のすももを余すことなく利用したいと商品を作り始めて18年。最近はファンも増えて、製造が追いつかないほど。加工メンバーも随時募集しています。」と答えてくれました。

6月8日（日）、すももフェスタが大和まほろば館で開催されました。今年も開場前からすももを買い求める列ができ、3kg箱438個が約15分で完売。すもも狩りも人気で、186人が参加しました。今回は、大和村の観光大使である奄美島唄デュオすももがライブ行い、会場は大盛り上がり。さらにスイーツマーケットとして、かき氷やすもも大福など、島内各地の美味しいものが並びました。

大和村の 今年のすもも

大和村の名産品であるカラリ種のすもも。初夏の味として親しまれています。近年は、気候に恵まれず不作が続いていましたが、今年はどうだったでしょうか。

今年のすもも全体量

24t 昨年より
-6t

今年から大和村のすももは、合同会社ひらとみが受入れを行い、選果場利用促進と島内販売を中心に行いました。

販売先

- ・名瀬中央青果
- ・すももフェスタ
- ・大和まほろば館
- ・加工業者 など

大和まほろば館で販売しているすももの加工品やソフトクリームの材料にも確保！

今年、すももは食べられたでしょうか。残念ながら昨年を引き続き、不作傾向の年となってしまいました。

すももは、2月の開花期にたくさん咲きましたが、3〜4月にかけて気温が低く、場所によっては果実の歩留まりが少なかった状況でした。さらに、熟期が進まず、例年よりも2週間遅れの6月からの収穫となりました。

それでも、品質は良く、湯灣釜選果場の取り扱いでも2Lが50%、3Lが20%と昨年より大幅に大玉が増加しました。

大和村では、すもものブランド化も進めています。

H27年 大和村防災センター完成
大和の園開園 30 周年記念式典
「スモモソフトクリーム」販売開始
大金久防災会館完成
大和村国民文化祭開催
津名久防災会館完成



第 242 号 「奄美の自然や文化は他の地域から見ると当然のことではなく、シマ独自の大切な財産です。」とあり、祖先から受け継いだ集落の文化を継承する意義を感じる行事でした。

H28年 大和村防災センター落成式
H29年 奄美大島・徳之島が国立公園指定
大和村出資企業「合同会社ひらとみ」設立
まほろば保育園 開園
H30年 NHK 大河ドラマ「西郷どん」放映開始
大和村もロケ地となる
村制施行 110 周年記念式典開催
H31/R1年 水産物加工施設「いしょむん館」完成
戸円から今里で光ブロードバンド整備
大和村直行バス試験運用開始
大和村集落まるごと体験協議会設立
新型コロナウイルス感染症の流行開始
R3年 大和村役場庁舎耐震改修工事 完成
コロナ予防接種スタート
世界自然遺産登録
R4年 宮古崎トンネルが開通



第 280 号
2,316 m のトンネルで、名瀬までの所有時間が 5 分短縮！
供用開始をドローンで捉えました。

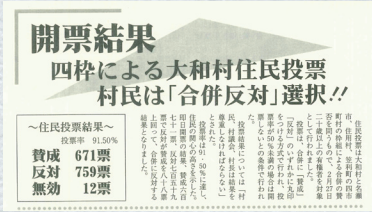
R5年 福祉事務所開所
集落巡回きびきび号運行開始
燃ゆる感動 かごしま国体開催
奄美群島日本復帰 70 周年
R6年 奄美温泉大和ハナハナビーチリゾート開業
R7年 アマミノクロウサギミュージアム QuruGuru 開所



第 299 号
「自然保護と観光の新拠点オープン」 クロウサギ保護と人との共生を目指す施設です。

『広報やまと』をこれからも
応援よろしくお願いします！

H12年 奄美フォレストポリスが全施設開園
奄美野生生物保護センターが開所
H13年 まほろば憩いの里が開設 (292㎡)
名音支所を開庁
H15年 まほろば水と森公園のまほろば橋が完成 (木橋 35m)
奄美群島日本復帰 50 周年記念に当時の
天皇后両陛下ご来島
H17年 名瀬市・笠利町・住用村・大和村の合併の
賛否を問う住民投票
大棚集落公民館完成 (251㎡)

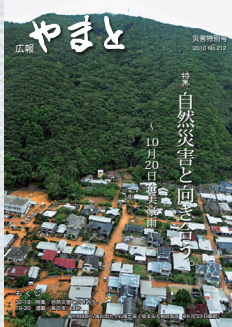


第 178 号
「村民は「合併反対」選択！！」
投票率 91.50%
賛成 671 票
反対 759 票

H18年 移動通信用鉄塔施設が完成
西部地区携帯電話エリア拡大
国直集落公民館完成 (197㎡)
志戸勘バイパス開通 (全長 2,582m)
H19年 国直から大金久で高速インターネット (ADSL) が使用開始
西部地区集落排水施設供用開始
戸円集落公民館完成 (197㎡)
大和ダム完成 (有効貯水量 721,000m3)
今里小中学校日奉安殿が国の登録有形文化財指定
H20年 NHK ラジオ第一放送 (FM 波) 奄美大和局開局
大和浜のオキナワウラジロガシ林が国の天然記念物に指定
村制施行 100 周年記念式典を開催

村制施行 100 周年を記念して H20 年 11 月号
No.200 からはリニューアルして発行開始

H21年 戸円小学校・戸円中学校休校
H22年 戸円から今里で高速インターネット (ADSL) が使用開始
奄美豪雨災害



H22 年 5 月号 第 209 号
からフルカラーに刷新

豪雨災害特別号 第 212 号
「自然災害と向き合う」
大和村にも甚大な被害をもたらした奄美豪雨災害の渾身の記録は必読。

H23年 (新設) 大和中学校開校式
大和まほろば館運用開始
H24年 あまみ FM 大和エリア開局
H25年 高齢者避難所 (戸円) 完成
特産スモモ皇室献上
第 30 回集落対抗村内一周駅伝競走大会 (最終大会)



『広報やまと』300 号記念 発行 58 年間の大和村のできごと Since 1967

S56年 スモモ選果場完成 (300㎡)



第 51 号「スモモ 124 トン出荷」
「もっとうまい、良いスモモを、
もっと多く、もっと早く出荷する
ようみんなで一生懸命がんばり
大和村をスモモの一大産地にし
ましょう」とスモモへの期待が読
み取れます。

村体育館が完成 (1,776㎡)
S57年 村制施行 75 周年を記念して村民憲章を制定
S58年 大和音頭を制作
大和村老人福祉センター完成 (515㎡)
国直トンネル開通 (260m)
S60年 特別養護老人ホーム大和の園開園
大和村集落振興計画と各集落マークを策定
S63年 村制施行 80 周年祭
H 元年 大島地区消防組合大和分駐所が設置
H 3 年 大和村産業振興総合センター完成 (370㎡)
H 4 年 尾神山トンネルが開通 (210m)
奄美東京直行航空便開通
第 1 回ひらとみ祭開催



第 105 号
「若さと情熱をアピール」
「小さな村の夢と可能性を次代に
つなごう」と青年団主催で開催。

H 5 年 思勝コミュニティセンター建設 (206㎡)
H6年 役場に電算処理システムを導入
今里公民館建設 (247㎡)
防災行政無線開局 (固定局・移動局)



第 132 号
「ちょベリグのくろうさぎ」
時代を感じさせるタイトルです。

H9年 奄美野生生物保護センター建設が大和村に決定
H10年 大和村衛生センター完成 (889㎡)
広域基幹林道大名線が開通
消防コミュニティセンター完成 (72㎡)
村制施行 90 周年記念式典を開催
毛陣トンネル開通 (1,212m)

『広報やまと』で大和村の沿革をたどりながら
あの頃を思い出してみましょう

M41年 大和村制施行
S27年 役場庁舎を新築 (木造平屋床面積 72 坪)
S31年 名音川流域に村営の水力発電所を開設
S36年 福元紅茶園に紅茶製造工場を開設する
名瀬市から大和浜までのバス運行が開始
S38年 名瀬市から大金久までのバス運行が開始
大和小中学校でアマミノクロウサギ飼育開始
S39年 大棚に大和村国民健康保険診療所を開設
中央公民館が完成
S40年 今里隧道が開通 (172.1m)
S42年 今里にへき地出張診療所を開設
村章を制定
「広報やまと」発刊



第 1 号には、大和小中
学校に屋内運動場完成
のニュースが「大和川
畔に偉容を誇る」と記
載されています。

ちなみに 7 月 1 日現在
の人口は、3,939 人、
1,042 世帯とのこと。

S43年 村民歌を制定
名音トンネルが開通 (386m)
宇検村回り県道開通
S45年 名瀬市から今里までバス運行が開始



第 16 号
「村民一同喜びにわきたつ
待望のバス開通祝賀会」
今里小学校で祝賀会を開催

S47年 大和浜に役場新庁舎が完成
S48年 地域集団電話 (411 台) 架設

第 26 号「地域集団電話開通」
411 世帯が加入。開通記念祝賀会が
行われ、5 組の親子の記念通話も行わ
れたんだとか！

S50年 ゴミ収集事業を開始
S51年 村中央公民館が完成
S52年 宮古崎に通ずる遊歩道・観光施設を建設
S53年 大和川に永良橋が完成 (延長 39.8m)
本村全域に電話の自動化が実現
村花 (ツツジ)、村木 (モッコク) を指定



健康づくりの意見交換

5月16日、健康づくり推進員連絡会を開催し、各集落の健康づくり推進員12名に委嘱状交付を行いました。

健康づくり推進員とは、運動・栄養・休養のバランスのとれた生活習慣を自ら実践するとともに、健康づくりを地域に広めていくボランティアです。

連絡会では、推進員としての活動について活発な意見交換が行われました。今後も、様々な活動を通じて村民の健康づくりに取り組めます。



入所者にもっこり

6月24日、大和の園入所者さんがアミノクロウサギミュージアム Quru Guru を訪問しました。Quru Guru の魅力やクロウサギの生態について、職員から説明を聞きながら館内を見学しました。特に、『よるにわ』では、ガラス越しに何度も近づいてくるクロウサギの姿に、「かわいいね」「何か食べてるのかね」と自然と笑みがこぼれ心温まるひとときとなりました。大和の園では、今後も集落へのドライブや施設見学の機会を提供できるよう取り組んでいきます。



宮田氏に叙勲伝達

6月14日、宮田到さんに旭日双光章が伝達されました。宮田さんは、昭和63年に大和村議会議員に初当選して以来、令和6年2月までの35年の長きにわたり同議会議員を務め、住民福祉の向上及び地方自治の伸展に大きく貢献されました。伝達式では、伊集院村長から長年の貢献に感謝の言葉が述べられました。宮田さんは、「これからは村民の一人として、農業に携わり少しでも大和村の支えになればと思っている」と更なる献身を語られました。受章おめでとうございます。



初の徒歩行進訓練開催

6月23日、陸上自衛隊奄美駐屯地の第3高射特科群第344高射中隊による徒歩行進訓練が大和村で初めて行われました。

大規模災害時に孤立した地域への救援物資の輸送を想定したもので、今里から大和村体育館まで県道約20kmを救援物資約20kgを背負って徒歩移動を行いました。隊員の方々が真剣な表情で行進に取り組む姿が見られました。その後、炊事訓練も行われ、村民にカレーライスが振舞われました。自衛隊の皆様、お疲れ様でした！

大和村を駆け抜ける！

5月25日、第8回大和村ジョギング大会を開催しました。これは、健康づくりのために大和村が開催する大会です。

大和ダム周辺を走る2.5km、4.5km、9kmの3コースがあり、3歳から76歳までの109名が参加しました。2.5kmコースには85名、4.5kmには17名、9kmには7名が参加しました。当日は、それぞれが力を出し切って駆け抜け、さわやかな汗を流しました。

大会後の抽選会では、航空券やまほろば館ギフトセット、アミノクロウサギミュージアム QuruGuru やハナハナビーチリゾートのギフト券などの豪華賞品が勢ぞろい。

当選番号が読み上げられるたびに会場からは歓声が上がりました。

今回の大会が、皆さんの健康づくりを意識する良い機会となれば幸いです。来年も、さらに多くのご参加をお待ちしています。



9696 人達成！

開館 61 日目の 6 月 28 日、アマミノクロウサギミュージアム Quru Guru の入館者が 9696 人に達しました。通常だと 10,000 人達成をお祝いしますが、くるぐるでは施設名にちなんで 9696 人達成をお祝いました。記念すべき 9696 人目の来館者は鹿児島市からお越しのファミリー。記念式典では記念のくす玉をわっていただき、くるぐる公式グッズ一式をプレゼント。特別バックヤードツアーでは獣医師の話を聞いたりいきものの治療室を覗いたり。クロウサギへのエサやりもして、「ぼくがあげたエサを食べてる！」と感動の声も聞こえてきました。ご家族で普段できない体験を楽しんでいただきました。

開館以来多くの方にお越しいたき 8 月 1 日現在、来館者が 15,000 人を超えました。これからもアマミノクロウサギのことやクロウサギが暮らす奄美の自然と私たち人間との共生を考えるきっかけを発信していきます！



名音に図書館がオープン

休園中の名音へき地保育所に私設図書館「かんから館」が開設されました。手がけたのは、名音在住の三島寿紀さん、照美さんご夫婦。寿紀さんは、名音出身で 4 年前に 50 年ぶりに夫婦で帰郷されました。

室内には、備え付けの棚を利用した本棚に三島さんの蔵書や寄附された図書が並びます。小説、実用書、漫画も多数並んでいます。アットホームな雰囲気ですファアもあり、くつろぎながら読書が楽しめます。館長の照代さんは、「静かに過ごす場所として、集落の方をはじめ村内の方に利用してほしい」と話していました。図書館利用は会員制を検討中で、ドールハウスやプラモデルなどのクラフト体験イベントも実施していきたいとのこと。

室内のエアコン取付が完了したら、一般に開放する予定で、開館日などの情報は、インスタグラムで発信していくそうです。



クロウサギ保護に寄附

6 月 27 日、(株)奄美大島開運酒造から寄付が贈呈されました。売り上げの一部をアマミノクロウサギ保護のために寄付するプロジェクトで、黒糖焼酎「Amami Rabbit」1 本につき 100 円が寄附される取組です。同社代表取締役の渡慶彦さんは、「クロウサギの飼育歴史が長い大和村にオープンしたアマミノクロウサギミュージアム QuruGuru に寄与したいとの思いで寄附を決定した。商品が続く限り毎年行っていければ。」と語りました。ご寄附は、くるぐるの運営に充てられます。



ネット塾がより便利に

大和村では、学習支援および保護者の負担軽減を目的として平成 29 年から村内の中学生を対象に無料でインターネット形式の学習塾を開講しています。今年度からは生徒の自宅でマンツーマンで受講できるようになりました。中学生が対象で、希望に応じて、1、2 年生は、英語と数学、3 年生は 5 教科の受講ができます。開講に先立ち、受託事業者の株式会社キャニオンマインドの代表取締役 西岡博史さんが講話を行い、「自分自身に期待して勉強に取り組んでほしい」と語りました。

台湾に向けて研修開始

2 回目となる大和村国際交流事業が今年度実施されます。これは、中学 2、3 年生を海外に派遣し、異文化理解を深め国際感覚を養うことを目的に実施するもの。令和 5 年度と同様に台湾に中学生を派遣する予定です。

11 月の台湾派遣に先立ち、台湾について理解を深め、海外で異文化体験をする際の心構えを学ぶための事前講座が開講されました。第 1 回は、本事業のコーディネーターである戸恒慎司さん、第 2 回は、台湾出身のウージャユン呉佳紘さん（奄美群島観光物産協会）を講師に大和中学校で授業をしていただきました。自分の名前を台湾華語で発音する練習では、日本語の響きと異なることに驚きの声が上がっていました。今後は、台湾出身の講師を招き台湾料理を作る体験を行い、さらに台湾の文化への理解を深める予定です。本事業が、異文化に親しみ尊重する心を育む研修となることを期待しています。



子育てサロン ママパパカフェの様子をお伝えします♪



妊婦さんやお母さん・お父さんが安心して楽しく育児できるよう、防災センター3階和室にて子育てサロンを開催しています。

過去には離乳食教室やベビーマッサージ教室等も行い、7月は産後ママさん対象に産後ストレッチを行いました。

身体に優しい「お菓子のやまとや」のお菓子とノンカフェインの飲み物を提供し、ゆっくりお話しできるカフェの時間もあります。参加予約は必要なく、自由に出入りしてかまいません。オムツ・ミルクはご持参ください。お湯の用意はあります。

お母さんだけでなく
お父さんも是非！



次の子育てサロン ママパパカフェ

9月18日 10時～11時30分

今回は、フリースペースの予定です。
自由に遊んで、お話しよう！
気軽に遊びに来てくださいね♡



保健福祉課の公式 Instagram を
この春開設しました！

子育て真っ最中の方もそうでない方も、子育て以外でも様々な保健情報をマイペースに発信していきますので、是非フォローしてください♪



New

大和診療所の取組を
伝えていきます！

皆さま、こんにちは。改めまして、この春から大和診療所で勤務しております、医師の越後 整と申します。福井県出身で、2000年に京都府立医科大学を卒業後、脳神経外科に入局し、救急医療や集中治療、災害医療、外傷診療など、いわゆる「命の現場」に長く関わってきました。都市部の病院で重症患者に向き合う中で、「本当に必要とされる医療とは何か」を考え、次第に過疎地や離島での医療に強く惹かれていきました。

赴任して4か月、村民の皆さまの温かさと、雄大な自然の中での診療は、私の医師人生を深めてくれる貴重な経験となっています。とくに毎日の往診では、「命を支える」という医療の本質と向き合う日々です。大和村では高齢化が進み、名瀬までの通院が難しい方も多くおられます。だからこそ、「できればこの村で診てほしい」という皆さまの思いに応えられるよう、診療所でできる医

療の範囲を広げ、必要なときは高次医療機関にしっかりとつなぐ「架け橋」のような存在になることが私の役目だと考えています。

この連載を通して、医療や健康のこと、そして日々感じていることを少しずつお伝えしていければと思っています。まだまだ至らぬ点も多いかと思いますが、地域の皆さまと顔を合わせ、言葉を交わしながら、一步一步信頼を築いていけたらうれしいです。どうぞこれから末永く、よろしく願いいたします。



プライベートでは釣りや料理といった趣味も満喫しながら、奄美の自然のなかで心身ともに健やかに過ごしています。

クロウサギとあなたと歩む くるぐるの道



アマミノクロウサギミュージアム Quru Guru
の取組等を紹介していきます。

うがみんしょーらん！今回は、くるぐるの大事なミッションのひとつである環境学習についてお伝えします。

7月22日から3日間、「アマミノクロウサギ農園を作ろう」と題し、夏休み学習教室（教育委員会主催）で村内小中学生と一緒に活動しました。クロウサギの特徴やクロウサギが何を食べるのかを学んだり、クロウサギの餌を育てる農園づくりに取り組みました。

バックヤードにある小さな農園に植えたのは、ニンジン、トウモロコシ、小松菜。かつて大和小中学校でクロウサギを飼育していたころの記録からクロウサギが好きな作物を選定しました。

その後は近隣の山でくるぐるでもよく与えているツルマオを採集。児童生徒たちは、ツルマオの感触を確かめたり香りを嗅いだりして興味津々でした。どの班の採集した植物をケンタが

最初に食べるのか、ドキドキしながら観察しました。

最終日は修了試験に挑戦。活動で学んだことを思い出しながらすらすらと問題を解いていく児童生徒たち。「楽勝で解けた！」と頼もしい声も聞こえてきて、ほぼ全員が全問正解！

今回の活動を通して地元の子どもたちがクロウサギを身近に感じてくれたら嬉しいです。また、学んだことを自分たちのことばでたくさんの人に伝えてほしいと感じました。



この夏、海や川で注意すること 文／三田もも子

大和村には、美しい海や川が身近にあります。地元に住む私たちはもちろん、観光で来られる方も泳いだり、水辺で涼んだりすることがあると思います。シュノーケルなどのマリネジャーや、川でのタナガ捕りなど人気のアクティビティですね。

しかし、水の事故は毎年多くの犠牲者を出しています。大和村には海水浴場がなく、監視員のいる海辺はありません。事故があっても、誰も見ていない可能性があるのです。

そこで、慣れている方でも、単独行動は避ける、ライフジャケットを常時着用する、体調の管理、天候の確認など基本的な安全管理を行いましょう。河川も同様。お子さんと一緒の場合は、目を離さないようにしましょう。

また、海水浴客が多い国直海岸では、ローカルルールがあります。飲酒後の遊泳禁止や、水上バイクのマリンレジャー禁止など、集落内に看板があるので、必ず守って安全にレジャーを楽しんで欲しいと思います。ちなみに国直海岸では、ライフジャケットの貸出を行っています。ぜひご利用ください。



大和村集落まるごと体験協議会の活動レポート
は本ーゆーくりでござる
はンゲスーイの村をめざして

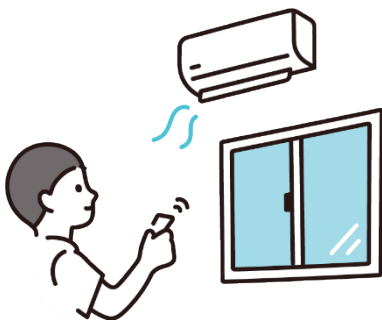


熱中症になったときの応急処置

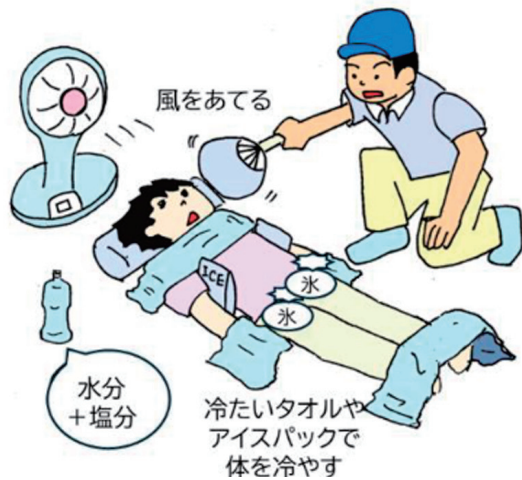


暑い時期の体調不良（めまい、こむら返り、頭痛、吐き気、倦怠感など）は熱中症が原因の可能性があります。熱中症は対応が遅れると死に至る可能性があるため、すぐに応急処置を行なうことが大切です。
特に重要な3つの応急処置の方法をご紹介します。

(1) 暑さを避ける
すぐに涼しい場所へ移動しましょう



(2) 体を冷やす
水、冷えたタオル、氷などを使用し、体をよく冷やしましょう



体を冷やす場合は、手足や首、脇の下、大腿の付け根などを冷やしましょう。
また、衣服を緩め、風通しを良くすることで体を冷やすことも重要です。
スポーツや激しい作業・労働等によって起きる熱中症には、冷たい水をホースでかける等の冷却法も有効です。

(3) 水分補給・塩分補給を行なう
冷たい飲み物で、速やかに水分補給を行ないましょう。
塩分タブレットや塩分を含む飲料水などを用いて塩分も補給しましょう。



問合せ先
保健福祉課 電話 0997-57-2218

いざ、国勢調査!

5年に一度、全員参加の統計調査

国勢調査2025

調査期日

10.1水

<https://www.kokusei2025.go.jp/>

国勢調査2025

検索

国勢調査をよそおった詐欺(さぎ)や不審な調査にご注意ください。

大和村長のフォトダイアリー

4月13日から10月13日まで開催されております「大阪・関西万博」へ日本国内の世界自然遺産地域の5地域で参加してまいりました。

6月5日に開催された「千の自然・千の時間」と題するイベントで、それぞれの地域の自然遺産としての価値や自然、動植物に対する保全活動などの取組を紹介したほか、専門家らのシンポジウムも開催されました。

奄美・徳之島にだけ生息する生きた化石ともいわれる「アマミノクロウサギ」を保護・展示する「アマミノクロウサギミュージアム QuruGuru」についても情報発信を行うことができました。また各地域の伝統芸能も披露され、関西奄美会の皆様が八月踊りを披露してくださいました。来場者や世界各国の多くの方々に日本の自然や環境文化の素晴らしさを発信する良い機会になったと思っております。各地の素晴らしい自然や伝統に触れ、奄美で受け継がれてきた自然や伝統文化をしっかりと守りながら、次の世代へと繋いでいきたいと改めて感じた万博でした。



写真と共に村長の活動を報告いたします。

こせきの窓

人口 1354人 (△ 37)
男 700人 (△ 10)
女 654人 (△ 27)
世帯 821世帯 (△ 20)
6月30日現在
(前年同月比)



アマミノクロウサギ事故件数
68件
不明・その他 36件

2025年6月末日現在

カーブ手前では速度を落とし、
生き物に気を付けながら走行しましょう。

ケガをしているアマミノクロウサギや
死体を見つけたらお電話ください！

奄美野生生物保護センター
電話 0997-55-8620

ご寄附

奄美冷熱(株)様
(大和の園に車椅子2台)

掲載を希望されない
寄附者様55名

森耕三様(鹿児島県)
木内志朗様(東京都)

小見山豊様(岐阜県)
盛田弘国様(東京都)

河上真巳様(鳥取県)
慶田八郎様(鹿児島県)

千木良淳様(東京都)
橋本泰成様(京都府)

ふるさと納税
ありがとうございます

宮島教一様(65歳・名古屋)
永田仲麿様(74歳・今里)

山下恭秀様(75歳・国直)
小田精也様(90歳・大和浜)

お悔やみ申し上げます
お誕生おめでとう

福山与喜さん
(保護者 勇成・葉瑠菜/国直)

お誕生日おめでとう
ありがとうございます

ミカンコミバエ 侵入防止に向けたお願い



産卵本数: 1000以上

梅雨が明けるとミカンコミバエの活動が活発になります！！

◎みなさんへのお願い

- ・村内ではトラップ調査、果実調査を定期的に行っています！
- ・万が一、トラップ調査でミカンコミバエの侵入が確認された場合、発生地点から2kmの範囲でテックス板を設置しますので御理解をお願いします！
- ・利用されていない果実(バンジロウ、島ミカンなど)は放置しないように処理の御協力をお願いします！

◎ミカンコミバエとは

- ・ミカン類やマンゴー、バンジロウ、パパイヤ、バナナ、スモモ、トマト、ナスなどの果実を加害する農業害虫です。
- ・現在、奄美大島や徳之島で侵入が確認されています。

◎対策(根絶するために)

調査



果実調査

ミカンコミバエの好適寄主を中心に熟果を採取し、一定期間保管後、幼虫の有無を調査しています。



トラップ調査

誘引剤を装着したトラップで、雄成虫の有無を調査しています。

防除



地上防除

テックス板(誘殺板)による防除を行っています。住宅地域の樹木や街路樹、果樹園の防風樹などに吊り下げて設置しています。人が立ち入れない原野や山間部等では、ヘリコプターにより上空からテックス板を投下する方法で防除しています。



航空防除

【問い合わせ】

大和村産業振興課 57-2153 大島支庁農政普及課特殊病害虫係 52-0299

集落巡回バス
きびきび号 運行中！

月・水・金の週3回

※運行日が祝祭日の場合、運休となります。



路線図・時刻表



ひらとみ祭り

2025 年 8 月 31 日 (日)

舟漕ぎ競争 10 時開始

ステージ 17 時半開始



主催：大和村連合青年団

詳細はこちらから
ご確認ください



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接 URL を入力してアクセスしてください。
(<http://www.vill.yamato.lg.jp>)

発行・編集 大和村役場企画観光課
〒 894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜 100 番地
TEL 0997-57-2117 FAX 0997-57-2161
mail:kikaku@vill.yamato.lg.jp
<http://www.vill.yamato.lg.jp>